

島根労働局発表
令和3年9月30日(木)

職業安定部職業安定課
担当 課長 門脇 登
地方職業安定監察官 竹谷 一彦
TEL 0852-20-7019

令和2年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組結果を公表します

厚生労働省では、平成27年度からハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価および評価結果等に基づく業務改善の取組を実施しています。

このたび、島根労働局（局長 くらもち きよこ 倉持 清子）では、令和2年度における県内ハローワークの評価結果等を取りまとめましたので公表します。

今後も、島根労働局・ハローワークでは、評価結果等を踏まえ継続的な業務改善に取り組み、求人者・求職者サービスの一層の向上に努めます。

なお、令和2年度の評価結果については、全国的な新型コロナウイルス感染症の影響下での結果であることにご留意いただくよう、お願いします。

1 令和2年度の評価結果

ハローワーク	グループ区分	総合評価類型	
松江	グループ5	類型2	良好な成果
浜田	グループ11	類型2	良好な成果
出雲	グループ8	類型2	良好な成果
益田	グループ10	類型3	標準的な成果
雲南	グループ10	類型2	良好な成果
石見大田	グループ10	類型2	良好な成果

(注1) 全国のハローワークを労働市場の状況や業務量が同程度の11グループに分類したうえで、同じグループ内で成果を比較し、次の4つの類型に分けて評価します。(別添1参照)

類型1：非常に良好な成果、類型2：良好な成果、類型3：標準的な成果

類型4：成果向上のため計画的な取組が必要

(注2) 出張所の取組は、本所（隠岐の島・安来出張所は松江、川本出張所は浜田）に含みます。

2 ハローワーク別の取組状況

別添2の「就職支援業務報告」のとおりです。

令和 2 年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価結果

1 評価方法について

全国ハローワークを労働市場の状況や業務量が同程度の 11 グループに分類したうえで、全ハローワークに共通する評価項目とハローワークごとの重点的な取組項目の目標達成状況等を厚生労働省において、同じグループ内で成果等を比較し 4 つの類型に分けて評価します。

(1) 評価項目

全ハローワークに共通する評価項目	主要指標	就職者数、求人充足数（受理地）、雇用保険受給者の早期再就職者数
	補助指標	新規求職者数に対する紹介率
ハローワークごとの重点的な取組項目	所重点指標	地域の雇用に関する課題等を踏まえ、グループごとに 3～5 項目を設定（例：障害者の就職件数など）
	所重点項目	その他の継続的な業務改善の取組等 （例：職員による事業所訪問の実施など）

(2) 総合評価の類型

類型 1	非常に良好な成果
類型 2	良好な成果
類型 3	標準的な成果
類型 4	成果向上のため計画的な取組が必要

2 評価結果について

ハローワーク	グループ別	総合評価の類型	
松江	グループ 5	類型 2	良好な成果
浜田	グループ 11	類型 2	良好な成果
出雲	グループ 8	類型 2	良好な成果
益田	グループ 10	類型 3	標準的な成果
雲南	グループ 10	類型 2	良好な成果
石見大田	グループ 10	類型 2	良好な成果

(注 1) 出張所の取組は、本所（隠岐の島・安来出張所は松江、川本出張所は浜田）に含みます。

(注 2) 令和 2 年度評価結果については、新型コロナウイルス感染症の影響下であることに留意が必要です。

(参考) ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価改善の取組（概要）については別紙のとおりです。

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・就職氷河期世代の活躍支援対象者把握を目的に所独自の対象者判断チャートを作成し、担当窓口以外の窓口担当者全員で共有し、同じ判断基準で幅広く対象者の選定を実施しました。
- ・就職氷河期世代支援コーナー周知用リーフレットを作成し、これを活用した支援内容等の周知に努めました。
- ・支援対象として選定した求職者の状況に応じた優先すべき課題については、窓口担当者が求職者との相談のなかで方向性をすり合わせ課題解決、支援を実施しました。
- ・支援対象者の状況に応じた問題解決のきっかけとなるよう独自の支援セミナー（面接塾）を8月以降毎月開催し、支援対象者の課題解決に取り組みました。
- ・雇用保険受給者のうち、就職を急ぐ者を「早期あっせん対象者」として選定し、早期再就職支援ナビゲーターが雇用保険の受給手続き後の早期段階で求職者の就職を急ぐ程度や安定所の相談・紹介等の援助に対する期待度を再確認し、支援が必要な者について担当者制による就職支援プログラムを実施しました。
- ・令和2年10月から下記のア～エを目的に職業紹介第1、第2部門の区分を撤廃し、職業相談を行いました。
ア、各部門間で求職者の混雑具合の偏りがなくなること、イ、職業相談件数などの業務量が平準化されること、ウ、求職者担当者制を取り組んでいく際に幅広い年齢層の求職者を選定できること、エ、来所者の待ち時間の減少、ひいては職業相談件数の増加を目的に取り組みました。
- ・公的職業訓練の受講を希望する者のうちジョブ・カード作成支援の対象者を従前は、60歳以上の受講希望者としていたが、令和2年11月から全年齢の受講希望者に作成することとし、訓練受講者の「自己理解」「キャリア」「必要スキル」を整理することで、訓練受講の際の目標がより明確化になりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・紹介窓口担当者全員に対し、就職氷河期世代支援対策事業の内容、目的・趣旨及び同事業の支援対象者の判断基準を説明し、就職氷河期

世代支援コーナーへの誘導が円滑に実施できるよう研修を行いました。

- ・ 電話による職業相談・職業紹介のマニュアルを作成し、来所することなくハローワークのサービスが求職者に提供できるように紹介窓口担当者全員に対し研修を行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 各種セミナーや面接会などをカレンダー形式で表示した「イベントカレンダー」を作成し、雇用保険説明会や窓口相談で配布するなど、ハローワークが行う各種イベント等を求職者に周知しイベント等への参加を勧奨することで就職活動に寄与することができました。
- ・ 「再就職手当試算表」を作成し、初回認定日に交付し早期再就職意欲を喚起しました。
- ・ 電話による職業相談・職業紹介のマニュアルを作成し、求職者が来所することなくハローワークのサービスが受けられるよう体制を整備しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 求人者マイページ及び求職者マイページの開設については、窓口においてメリットを説明する取組を中心に開設促進を図ったものの、開設件数は低調であったため、今後は年間目標及び月間目標を定めて取り組むとともに、進捗管理を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ 職員による計画的な事業所訪問は、業務部門（職業紹介第1・第2部門、事業所部門）の職員、相談員全員としていましたが、コロナ禍の影響により縮小する形となりました。
- ・ 「障がい者就職促進月間」の取組として例年開催している障がい者面接会の開催が令和2年度は困難であったため、その代替措置として障害者と企業とのマッチングを目的に、ア、企業から障害者の採用見込情報を提出してもらう、イ、採用見込情報を冊子にまとめ障害者へ郵送により提供する、ウ、障害者から応募の希望がある企業へのエントリーシートを提出してもらう、エ、エントリーシートをまとめて、企業へ郵送により提供する、オ、企業はエントリーシートの中から職場見学や面接等の希望のある方をハローワークに対し連絡する、カ、ハローワークは企業からの選考結果を障害者に連絡する、キ、障害者は必要に応じて職業紹介を受ける、といった取組みを実施しました。この取組により、参加求職者数は従前（コロナ禍前）に比べ約30%減少したものの、就職者数は令和元年度と同数（11名）となりました。本取組み後の企業、求職者双方のアンケートで、上記方法について多数ご意見をいただいております。次年度以降は、これら意見を参考に、より良い取組となるよう検討します。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

松江所計	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の就 職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率
実績	3,940	3,983	1,351	84.4%	396	13,713	1,771	123	93.4%
目標	4,030	4,010	1,349	77.1%	245	14,475	1,884	89	93.4%
目標達成率	97.8%	99.3%	100.1%	109.5%	161.6%	94.7%	94.0%	138.2%	100.0%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク浜田 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、紹介件数・就職件数が減少傾向で推移したことから、求職者担当制による個別支援を強力に実施し、就職件数の増加を図るとともに、同担当制の支援対象者のうち半数を雇用保険受給者とし、雇用保険受給者の早期再就職件数の増加を図りました。

また、年度前半期は雇用維持のための雇用調整助成金業務に重点を置き、求人充足会議は年度後半期から実施し、参加メンバーが各々、どのようにしたら求人充足に繋がるのか意見を持ち寄り、協議結果に基づき求人者へのフォローアップも確実にを行うなど内容の充実を図りました。

求人者が求職者へ直接事業所PRできる機会を提供するためのミニ面接会を多数開催するとともに、求職者に対しては、窓口等において積極的に参加勧奨を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

窓口職員の事業所理解と職業理解を深めることが質の高い職業相談と的確なマッチングに繋がることから、「ハローワーク窓口職員による職場見学」を実施し、職員の資質向上に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談では、電話相談など来所せずとも就職活動を継続するよう求職者の情報収集はもとより、マインド面にも配慮したガイダンスを実施し、求人者には、慢性的な人材不足に対応するため、ソーシャルディスタンスを維持のうえ、求人説明会、ミニ面接会を継続的に実施しました。

また、年度後半期から実施した求人充足会議では、求職者のニーズに沿う改善を図るとともに、内部的にも求人票の再チェックやDMの送付のみとならない体制づくり、求人者支援に向けた意見交換が行える会議となるよう改善を図り、求人者に対するフォローアップも確実に実施し、求人事業所からの信頼感の向上に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人者・求職者マイページの普及促進をはじめハローワークシステム刷新全般に関して、ハローワークを利用しない者や、高年齢者等にはシステムに不慣れなため公開端末の利用を敬遠している者もいることから、ハローワークで行っているサービス内容の発信や、職業相談窓口への誘導を図る取り組みを継続的に実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の拡大による事業活動の縮小等も存在しており、求人開拓及び求人更新時の更新確認を確実にし、求人数の総量確保を行っていきます。

また、引き続き新型コロナウイルスの感染を心配し、職業相談窓口の利用を敬遠する求職者も一定数存在することから、窓口利用を強要しないものの、マッチングをより積極的に実施し、求人情報の提供頻度等の増加について検討してまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,740	1,557	491	81.6	226	4,895	815
目標	1,819	1,610	566	84.6	109	4,440	848
目標達成率	95%	96%	86%	96%	207%	110%	96%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク出雲 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では就職件数の目標達成を最重要と考え、特に求職者担当制などの取り組みを重点的に進めることとし、P D C A管理表に基づき組織的に取り組むとともに、職員ごとの個人P D C A管理を実施しました。

常用就職件数をはじめ雇用保険受給者や就職氷河期世代の就職などの重点指標について、毎月、担当管理職員が前月の実績に基づく振り返りコメント及び当月の組織としての目標値を記載した個人シートを作成し、各職員はそれぞれ個人目標を設定。翌月、各職員は前月の実績と自己評価（振り返り）を行ったシートを提出し、管理職員が各職員の取組に対しアドバイスをを行うといったサイクルを構築しました。

この取り組みにより個々の職員が組織の一員として組織目標に取り組んでいるという意識の高揚が図られ、結果、求職者担当制による支援対象者の就職率は72.1%となり、所としての実績42.0%を大きく上回ることが出来ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では職員の育成を図る観点から、紹介担当職員を対象に、相談を行う上で役に立つ知識の習得や日頃の実際の相談場面での困りごとの対応方法の教示などを内容とした「職業紹介関係紙上研修」を計10回実施しました。

また、全職員を対象として、「障害受容のない方の対応方法」や「労働者派遣事業・職業紹介事業」に係る知識を習得するための集合研修も実施しました。

このほか、求人内容以上の情報を得て質の高い職業相談を行うことを目的に職員による事業所訪問を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため年度後半からの取り組みになりましたが、職業相談及び求人を担当する職員全員が2回以上訪問し貴重な情報を得ることが出来ました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

例年、多くの障害者を就職に結び付けていた障害者合同就職面接会は、他のイベントと同様に中止を余儀なくされたところですが、障害者支援機関等からの代替イベント開催の要望を受けて、コロナ渦での試みとして企画した職場見学会「G o T o 職場見学」は、参加者63名、受

入企業 23 事業所の協力により延 120 件を超える職場見学を実施することが出来ました。また、新型コロナ感染防止のため職場見学の受入が出来ない企業から要請を受けて「ミニ面接会」を開催し、いずれも少人数ながら雇用に結び付けることが出来ました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「G o T o 職場見学」は参加者や障害者支援機関等からも好評ではありましたが、当初の予想をはるかに上回る実施件数となったこと及び希望が集中した企業には複数回の実施をお願いすることとなり、日程調整に相当な時間を要するなど課題もあることから、今後、開催する場合は参加人数の上限の設定などにより、実施までの期間の短縮が必要と考えています。

なお、障害者の雇用の実現を支援する取り組みとしては、「面接会」による方が成果が大きいことから、「合同面接会」を開催したいと思いますが、新型コロナの感染状況によっては「小規模な面接会」の複数回開催を軸として取り組み、障害者の就職促進を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

令和 2 年度は、生涯現役支援窓口事業についても重点的に取り組み、同窓口における 65 歳以上の方の就職件数は目標 46 件に対して 59 件の実績となりましたが、今後は「生涯設計就労プラン」の策定件数の目標を設定し、プランに基づく積極的なチーム支援を実施し、同事業の更なる活性化を図ります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	就職氷河期世代の 正社員就職件数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口 での 65 歳以上の 就職件数
実績	2,713	2,603	880	88.8%	303	7,048	1,220	59
目標	2,740	2,593	956	83.5%	161	7,857	1,251	46
目標達成率	99.0%	100.4%	92.1%	106.3%	188.2%	89.7%	97.5%	128.3%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク益田 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

依然として、月間有効求人倍率が高水準で推移している状況下において、雇用吸収力の高い分野を中心とした人材不足課題に対応すべく、令和2年度においても『紹介件数（常用）を伸ばしていく』ことを基本方針として、マッチング強化のための各種取組を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、上半期における新規求職者が大幅に減少（新規求職申込件数（常用）1,152件、対前年度比▲13.8%）したことを受け、紹介件数（常用）は1,027件（対前年度比▲20.0%）、就職件数（常用）も535件（対前年度比▲23.2%）と低調な結果に終わった。下半期が始まる頃には、求職者の出控え傾向は緩和されていたものの、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものと想定し、より能動的で精度の高いマッチング業務を推進していくため、以下の取組に重点的に取り組んでまいりました。

① 求職者担当制による支援の拡大

自主選択能力が高いものの、コロナの影響を懸念し来所を控えていると思われる求職者に対しては、ハローワークから積極的に連絡を取り、担当者制の支援対象者として取り込み、求人情報提供から電話等による職業紹介を短期・集中的に実施しました。より多くの対象者に迅速な支援が行き届くよう、求職者のニーズに合わせ職業紹介を織り交ぜながら支援に取り組みました。

また、応募書類作成支援セミナー及び模擬面接セミナーについて、集合形式での開催が中止されたことから、セミナー受講が必要と思われる求職者を求職者担当制の対象者として取り込み、マンツーマン形式の個別支援を実施し、職業紹介につなげていきました。

② 求職相談記録等の充実

電話相談等の結果を的確に把握、対象者のニーズに合致した求人情報の提供から職業紹介につなげられるよう、「アピールポイント」「適性・経験・知識」「求職者の状態」「要対応事項」「補足情報」等を正確に記録し、効果的なマッチングを行うよう努めました。

以上の取組の成果も含めて下半期の実績を見ると、紹介件数（常用）は1,170件（対前年度比▲2.3%）、就職件数（常用）は636件（対前年度比1.0%）と上半期の下降傾向を改善させることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 所独自に「個人PDCA進捗管理表」を作成し、マッチング業務において重点的に取組む指標の個人別の進捗を日々記録させることで、

目標に向けた意識の向上を図ると共に、取り組みそのものに対する振り返りを管理職員の助言を交えながら行うことで、業務の改善を図るよう努めました。

- ② 雇用保険受給者の早期再就職を促進させていくため、雇用保険受給のための失業認定日を月曜日から金曜日までに分散させることで、1人当たりの相談時間の確保を図り、より丁寧な支援が行えるよう努めました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

本年9月から、ハローワークシステムの新機能が稼働することに伴い、自主選択能力のある求職者と求人者のマッチングを促進させる等業務の効率化・重点化を図るため、以下の通りマイページの登録を推進していきます。現時点で、当所の登録求職者においては、オンライン自主応募を進んで行う層の者は非常に少数ではあるものの、ネットでの求職活動が一般的となっている昨今の状況に対応し、オンラインというツールを活用することでハローワークの支援の届かなかった者に支援策等を周知させていくため普及に努めてまいります。

1 求職者マイページ

- ・新規求職登録時に、登録勧奨を必須とすること。
- ・雇用保険初回説明会時に積極的な登録勧奨を行うこと。
- ・求職者担当制対象者は登録を必須とし、求人情報提供に活用していくこと。

2 求人者マイページ

- ・窓口に来所した事業所に対し、追加サービスの内容、登録後のメリット等を説明し、開設を促すこと。
- ・来所以外の事業所に対して、労働局作成資料とアカウント登録用の所独自様式を送付し、開設を勧奨すること。

(4) その他業務運営についての分析等

45歳以上求職者の全求職者に占める割合が50%を超え、55歳以上求職者の割合も40%を超えている状況下において、所全体のマッチング実績をあげていくためには、中高年齢層にターゲットを絞ったさらなる就職支援策が必要になってくると思われます。

例えば、就職氷河期世代を対象とした歓迎求人の方針にならい、「高齢者歓迎求人」の開拓を進め、高齢者が不安なく面接に臨める環境を作っていくことも一方策だと思われます。

また、求人者ニーズに合わせたスキルアップや職種転換等による新分野へのチャレンジを支援するため、現在所持しているスキルのアップデートや能力開発を実現するための公的職業訓練コースの設定を進めていくことも今後の課題と思われます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,171	1,163	390	93.5%	127	3,210	536
目標	1,280	1,220	390	97.1%	75	3,300	558
目標達成率	91%	95%	100%	95%	169%	97%	96%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワー雲南 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

主要指標である就職件数（常用）、求人充足件数（常用）の目標達成を最重要と考え、マッチングによる情報提供やセミナー受講による支援強化を重点的に進め、「積極的・能動的マッチングを1日1件！」を目標とした取組を実施しました。その結果、新規求職者数および新規求人数が前年度を下回る状況において、紹介件数、就職件数（常用）、求人充足件数（常用）は前年度を上回り、かつ目標を達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者・求職者へのサービスを図るため、次の取組を実施しました。

- ① 計画的な求職活動を促進させることを目的として「早期再就職支援計画表／イベント情報」と名付けた失業認定日、各種セミナー等がカレンダー方式でわかる一覧表を作成し、職業相談時に活用しました。
- ② 当所の求職者は45歳以上の求職者が6割近くを占める中、45歳以上の求職者を対象とし、窓口利用促進及び求人検索端末の操作方法を支援するため「シニアわーくセミナー」を12月開催しました。また、3月には、就職氷河期世代を加え、「シニア・就職氷河期世代わーくセミナー」を開催しました。なお、「シニアわーくセミナー」は上半期についても2回開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しております。
- ③ 助成金を活用した人材確保を図るため、求人事業主等を対象とした「人材確保セミナー」を12月に開催しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ① ハローワークのシステム刷新に伴い、求人者・求職者ともマイページ登録を行うことにより、今まで以上に活用しやすいシステムになっていることの周知に取り組みます。
- ② 引き続き上記の各種セミナーについては、年4回程度の計画で実施内容を求人者・求職者のニーズに合ったものとし、継続的に実施することで新規求人の確保およびシニア・就職氷河期世代の取組を積極的に実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内においては若年者の減少および高齢化率が著しく、若年労働者の働く場の確保と高齢求職者が今まで以上に活躍できる場の確保のため、求職者ニーズに沿った求人開拓及びマッチングを積極的に推し進めていく必要があると考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介 により、正社員に結びつい た就職氷河期世代の不安 定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	762	615	241	86.1%	39	1,606	343
目標	670	550	238	82.2%	32	1,680	246
目標達成率	113%	111%	101%	104%	121%	95%	139%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク石見大田 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標の目標達成に向け、求人・求職のマッチングを最重点業務として取組み、新規求人のうち正社員求人、非正規求人のうち充足可能性が高い求人、受理後2週間経過時点で紹介がない求人について、重点的にマッチングを行い窓口相談及び電話・DM送付等により求人情報を提供したほか、雇用保険受給のための失業認定日には来所者全員の職業相談を実施し、求人をマッチングのうえ情報提供しました。

こうした取組を着実に実施したところですが、年度当初の緊急事態宣言による求職者の就職活動の手控えの影響から、就職件数と充足件数は達成率が90%台で目標を達成するに至りませんでした。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

年度当初早々に、地域のハローワークとしてコロナ禍による企業の雇用維持支援に対応するため「雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金」の研修を緊急実施しました。また、職員の資質向上を図るため「ハローワークシステムの刷新への対応」、「就職氷河期世代活躍支援」などの研修も実施しました。

（2）サービスの改善・業務改善を図った事項

ポスター、リーフレット等は、来所者に対して見せ方や見やすさに留意して掲示・配架する等の工夫をしました。また、情報が古くなったものがないかの点検も定期的に行いました。

また、ハローワークシステムの刷新対策のため、来所者用求人検索パソコンの配置を始めとした、待合のレイアウト等を利用者の意見も聞きながら改善し、かつ相談者と待合者間のプライバシーや密にならない対策も講じました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少傾向にある中であって求人を如何に充足させるかについては、計画的なマッチング実施と求職者担当制に早期あっせん対象者を組み込み、これらを組み合わせ実施することにより紹介件数と就職件数を確保することを最重点業務として取組んで参ります。

また、雇用保険受給者の早期再就職に関わって、上記1①にあるように、失業認定に来所した者全員に対し、事前にマッチングした求人を提案した上での職業相談を行うよう取組んで参ります。

(4) その他業務運営についての分析等

今年度は、コロナ禍による求職者の就職活動の手控えや従前からの人口流出、高齢化に伴う地域の労働力人口の減少といった要因も合わさって、新規求職者数、紹介件数、就職件数いずれの指標も過去5年間で最も少ない結果となりました。今後も労働力人口の減少が見込まれる中、求人充足サービスのため求人・求職のマッチングに着実に取り組むことを基本とするほか、求人者に対して女性、高齢者、障害者、外国人といった多様な人材の活用や柔軟な働き方の提供、助成金を活用しつつ生産性の向上や働き方改革に取り組む必要性を提案・発信することで、地域における労働参加率の向上を図るための取り組みも検討して参ります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

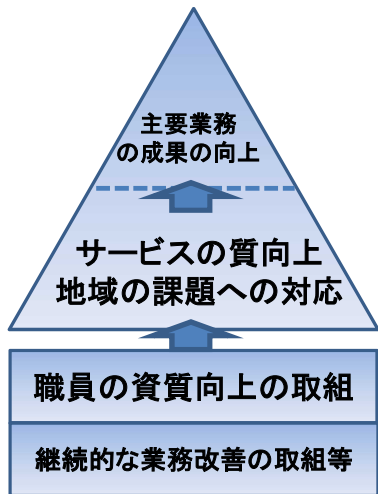
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)
実績	510	459	187	80.4%	28	1,432	211
目標	550	480	156	81.6%	29	1,382	236
目標達成率	92%	95%	119%	98%	96%	103%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 - 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

令和3年度公共職業安定所のマッチング機能に関する業務の目標設定

安定所別	主要指標		
	就職件数 (常用)	充足件数 (常用、受理地別)	雇用保険受給者の 早期再就職件数
	件	件	件
松江所	4,266	4,084	1,457
松江本所	3,520	3,575	1,153
隠岐の島出張所	178	168	87
安来出張所	568	341	217
浜田所	1,895	1,711	626
浜田本所	1,650	1,533	523
川本出張所	245	178	103
出雲所	2,870	2,730	970
益田所	1,300	1,271	405
雲南所	725	577	266
石見大田所	528	455	210
島根局	11,584	10,828	3,934

※松江所、浜田所の目標値は、本所と各出張所との合計値となります。

令和3年度公共職業安定所のマッチング機能に関する業務の目標設定

	所重点指標										
	生活保護受給者等の就職率	障害者の就職件数	就職支援ナビゲーター(旧学卒ジョブサポーター)の支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結び付いた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数	公的職業訓練修了3か月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
	%	件	件	件	件	件	%	件	件	件	件
松江所	67.0	418	1,304	308	275	271	93.4	13,823	1,823	1,153	93
本所	67.0	362	1,187	275	255	226	93.4	12,246	1,580	961	93
隠岐の島	67.0	11	47	7	3	0		542	33	52	
安来	67.0	45	70	26	17	45		1,035	210	140	
浜田所	84.6	172	265	190	151	55		4,427	807	482	40
本所	85.7	143	235	180	147	51		3,877	722	427	40
川本	67.0	29	30	10	4	4		550	85	55	
出雲所	75.0	238	450	290	280	147	93.4	7,370	1,260	700	60
益田所	85.0	82	167	120	120	50		3,265	516	354	
雲南所	82.5	53	91	35	53	25		1,616	325	201	
石見大田所	67.0	35	79	30	35	16		1,350	227	130	
島根局	67.0	998	2,356	973	914	564	93.4	31,851	4,958	3,020	193

(注) 松江所、浜田所の目標値は、本所と各出張所との合計値となります。